

令和4年度 公益財団法人静岡県国際交流協会 事業報告

○2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を依然受けながらも、水際対策が緩和され、2年近く入国を待っていた技能実習生や留学生等の新規入国が始まるなど、一時減少した外国人住民の数は増加に転じた。

ロシアによるウクライナ侵攻により、日本でも避難民の受け入れが表明され、静岡県でも、受け入れ先の各自治体が、市営住宅の無償提供をするなど支援策を展開した。

そのような中で、国では、6月に外国人との共生社会の実現に向けたロードマップが策定され、日本語教育等の支援、外国人に対する情報発信・外国人向けの相談体制の強化、ライフステージ・ライフサイクルに応じた支援、共生社会の基盤整備に向けた取り組みが示された。

静岡県においても、定住外国人正社員就業・定着支援や外国につながる若者を対象としたキャリア及び日本語支援の事業等を展開している。

○令和4年度は、人数制限や実施対応策を講じながらも、コロナ前の事業運営に努め事業を実施した。結果として決算額（計上費用計）は、298万円余（前年度106万余）の赤字決算となった。コロナ禍において事業が縮小した令和元年度と2年度の剰余金について、相談体制の強化及び教育の機会提供の事業実施を通じて解消した。

○協会の重点事業の取組みとして、「相談体制の強化及び安心して医療・保健・福祉等のサービスを受けられるための支援」及び「教育機会・適正な労働環境の確保」の2点を核として実施した。

「相談体制の強化」においては、県から受託した相談窓口は4年目となり、外国人から一定数の相談が寄せられ、困りごとの傾向や課題が明確になっている。外国人相談に関しては、コロナ禍の対応策として遠隔支援の活用が急激に進み、法律や入管相談等における専門機関や病院受診時に医療通訳が必要な病院等において、以前は対応しなかったタブレットやパソコン、携帯を介した遠隔での相談や通訳対応が可能となった。引き続き、専門相談機関との円滑な体制整備が求められている。

「教育機会・適正な労働環境の確保」においては、県委託事業である定住外国人就労支援事業を通して、外国人と企業双方に寄り添ってマッチングをサポートするアドバイザーの派遣や、外国人の適正な受入を進めるための企業への働きかけを行った。また、モデル事業として、定時制高校やブラジル人学校における日本語支援や職業体験の仲介等を実施したことで、外国人のライフステージに沿ったキャリア及び日本語教育と就労までの支援を仕組化した。今後は、関係者及び関係機関との強固なネットワークを活かし、職種別のロールモデルを積みあげていくことが重要となる。

○資産運用では、基本財産の投資有価証券の令和5年3月末の時価指数は、106.70（前年度比110.91）となった。また、事業実施に当たっては、年間を通じ効率的な事業執行や事業効果の最大化を図り、公益財団法人を知悉する会計事務所の指導及び指示に基づき的確な会計処理に努めた。

1 国際理解・交流推進事業

【 県民・団体への働きかけ、連携強化 】

(1) 情報収集提供事業

ア 情報誌(SIR Joy Press) 4,000部を年11回発行した。

イ ホームページ「SIR 静岡県国際交流協会」の保守及び5言語（日本語・やさしい日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語）による情報提供を行った。

・平均ページビュー数 15,780件/月

(2) 国際理解教育事業

国際理解・交流推進に取り組む県内外団体が連携・協働を強化するとともに、県民への情報発信力を高めるため、地域課題に取り組む諸団体・実践者と連携して「アース(明日)カレッジ2022」を開催した。

「アース(明日)カレッジ2022」

- ・開催時期 令和4年7月31日(日)
- ・開催講座数 14講座、その他展示コーナー設置
- ・会場 静岡市葵生涯学習センター アイセル21(静岡市)
- ・講師 在日インドネシア留学生推進協会、静岡商業高等学校、しずおか自主夜間教室、静岡県中小企業家同友会、他
- ・参加者 201人(延人数)

(3) 外国語ボランティアバンク設置及び災害時外国語ボランティア育成事業(県委託事業)

県の国際的イベント開催時の言語支援や災害時の外国人住民への円滑な支援体制の構築等を図るため、語学が堪能な県民のボランティア登録を行うとともに、情報提供を行った。災害時の外国人支援体制を整備するため、災害時外国語ボランティアの募集・登録を行い、研修会を実施した。

ア 外国語ボランティアバンク設置

- ・登録者数 1,526名 31言語(内災害時外国語ボランティア 370名 23言語)

イ 災害時外国語ボランティア研修会の開催

静岡県災害時多言語支援センターや、災害時外国語ボランティアの活動についての説明及び講義を行った。

[東 部] 「ボランティアの役割と心構え」

- ・開催時期 令和5年2月19日(日)
- ・会場 プラサヴェルデ402会議室(沼津市)
- ・講師 崔英善氏(地域国際化推進アドバイザー)
- ・参加者 15名

[中 部] 「吉田町の防災まちづくりと災害時の対応について」

- ・開催時期 令和4年11月13日(日)
- ・会場 健康福祉センター はあとふる 2階研修室(吉田町)
- ・講師 吉田町防災課
- ・参加者 23名

[西 部] 「災害情報の収集と事前の備え」

- ・開催時期 令和4年11月27日(日)
- ・会場 掛川市役所4階会議室(掛川市)
- ・講師 静岡県危機情報課、掛川国際交流センター
- ・参加者 34名

(4) 日本国際連合協会関連事業

国際連合の機能・活動に対する理解を深め、語学力の向上を図る機会を提供するため、「国連外国語講座（英語・韓国語）」を開催した。1期全10回、年間3期。

- ・開催時期 令和4年5～7月、9～12月、令和5年1～3月
- ・会場 静岡市、沼津市
- ・参加者 403名

【 海外との関係強化・維持 】

(5) 留学生支援事業

ア ふじのくに留学生親善大使設置事業

過去に委嘱した「ふじのくに留学生親善大使」に対し、国際交流事業の紹介をした。

- イ 留学生就職支援事業(公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム委託事業)
県内大学に在学し、静岡県内企業への就職を希望する留学生に対し、静岡県の産業や企業を学ぶ基礎講座や留学生のOBOG交流会、インターンシップ、企業訪問を実施した。

「基礎講座」

- ・開催時期 令和4年6月～令和5年3月
 - ・開催回数 静岡市5回・浜松市6回
 - ・会場 静岡市 静岡B-nest、静岡県男女共同参画センターあざれあ
浜松市 静岡大学浜松キャンパス、静岡文化芸術大学
 - ・講師 [静岡県企業]
 - ・(株)ユニバンス、協立電機(株)、静岡信用金庫、
(株)ソミックマネージメントホールディングス[キャリアカウンセラー他]
 - ・中山 勝氏（一般財団法人企業経営研究所 理事長）
 - ・岡村 めぐみ氏（HICE 外国人雇用サポートデスク相談員）
 - ・しずおかジョブステーション[行政書士]
 - ・守屋 和弘氏、沖田 祐子氏[留学生OBOG]
 - ・ネパール出身 スズキ(株) サンディップ アチャラ氏
 - ・ベトナム出身 三栄ハイテックス(株) ファン テイ クオン ニャット氏
 - ・中国出身 (株)大鉄アドバンス 孫 江明氏
 - ・中国出身 協立電機(株) 金 笑杰氏
 - ・中国出身 (株)サンロフト 王 超然氏
 - ・マレーシア出身 (株)クリエイトエス・ディー タン カ シン氏
 - ・参加者 留学生159名
- ##### 「インターンシップ」
- ・開催時期 令和4年9月5日（月）～9月9日（金）
 - ・受入企業 (株)磯駒海苔、(株)サンロフト、日興美術(株)
 - ・参加者 留学生5名

「企業訪問」

- ・開催時期 令和5年2月17日（金）
- ・訪問企業 （株）ユニバンス（湖西市）
- ・参加者 留学生9名

(6) 海外国際交流団体連携事業

国際相互理解を促進するため、市民交流希望案件を情報誌やホームページ等を通じ、県民や県内の青少年団体や女性団体、自治体等に情報提供、提案した。

(7) 海外移住者援護事業（県補助事業）

協会ホームページ内「オレンジネット」及び情報誌にブラジル、アルゼンチン、ペルーの各県人会から提供された情報を掲載し、海外静岡県人会への助成や高齢者表彰を行った。

- ・在外県人会への助成
ブラジル県人会 700 千円、アルゼンチン県人会 200 千円、ペルー県人会 200 千円、サンパウロ日伯援護協会 80 千円、アマゾニア日伯援護協会 80 千円
- ・在外県人高齢者表彰
ブラジル 6 名、ペルー 3 名、アメリカ 2 名

2 多文化共生推進事業

【 外国人住民支援 】

(1) 外国人住民支援アドバイザー設置事業（県委託事業）

外国人住民が抱える生活課題に対応するため、「静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ」において外国人相談員及び日本人相談員を配置し、生活相談に対応した。

また、専門家による相談会を開催し、市町で実施される相談会等に出向き、各地域の相談対応を支援した。

「静岡県多文化共生総合相談センター かめりあ」

- ・対応言語 ポルトガル語、スペイン語、フィリピン語、中国語、ベトナム語、インドネシア語、韓国語
- ・相談件数 2,587 件
- ・言語別件数 合計 2,473 件
ベトナム語 729 件、フィリピン語 435 件、日本語 424 件、インドネシア語 341 件、ポルトガル語 264 件、スペイン語 128 件、中国語 85 件、英語 61 件、韓国・朝鮮語 3 件、ネパール語 1 件、その他 2 件
- ・相談内容 合計 2,587 件
入管手続き 576 件、雇用・労働 207 件、社会保険・年金 177 件、身分関係 161 件、通訳・翻訳 153 件、医療 91 件、教育 69 件、税金 58 件、日本語学習 49 件、住宅 47 件、出産・子育て 43 件、交通・運転免許 35 件、防災・災害 19 件、その他 902 件

「専門家による相談会」

- 入国管理局相談会 77 件（全 12 回）、行政書士相談会 13 件（全 9 回）
- 法律相談会 44 件（全 24 回）、社労士相談会 11 件（全 7 回）

「出張専門相談会」

- ・会 場 6市（御殿場市、富士市、焼津市、藤枝市、掛川市、湖西市）
- ・相談件数 31件

(2) 外国人住民相談窓口高度化事業

外国人住民の生活で重要となる医療、福祉、教育、雇用、防災等の分野での具体的な支援策の構築を図るため、体制整備に向けた検討・研修会や調査を行った。

医療通訳者紹介や就労支援マッチング事業及び外国人の若者を対象としたキャリア及び日本語教育に取り組んだ。

ア 静岡県医療通訳体制整備事業（一財 自治体国際化協会助成金事業）

「遠隔ビデオに対応する医療通訳者の養成講座の開催及び登録」

当協会に登録されている通訳者（80名）を対象とし、遠隔ビデオに対応する専門医療通訳者の養成講座を実施した。対面と遠隔ビデオの違いや特有の技術を学び、ロールプレイを含めた実践的な内容とした。

- ・開催時期 ①令和4年7月24日（日）②8月6日（土）、8月7日（日）
- ・会 場 ①オンライン（Zoom）
② 静岡県男女共同参画センターあざれあ（静岡市）
静岡県国際交流協会共用会議室（静岡市）
- ・講 師 ① ポルトガル語医療通訳者
中萩エルザ氏（ブラジル医師免許有資格者）
② 中国語 宇野 冬美氏（中国医師免許）
フィリピン語 パラデロ モン アンジェロ氏
（フィリピン看護師・EPA介護福祉士）
ベトナム語 デイン ティ ホン ニュン氏
（医療通訳技能検定試験1級取得）
ポルトガル語・スペイン語講師 形岡洋光氏（浜松医科大学）
- ・参加者 ①36名（ポルトガル語12名、スペイン語6名、中国語7名、
フィリピン語4名、ベトナム語7名）
②27名（ポルトガル語9名、スペイン語6名、中国語4名
フィリピン語4名、ベトナム語4名）
- ・登録者 27名（ポルトガル語9名、スペイン語6名、中国語4名
フィリピン語4名、ベトナム語4名）

「遠隔ビデオによる医療通訳実証実験事業」

遠隔ビデオ医療通訳の実施方法について、医療従事者及び通訳者と協議し、モデル病院において実証実験を行った。

- ・モデル病院 沼津市立病院（沼津市）、静岡県立こども病院（静岡市）、菊川市立総合病院（菊川市）
- ・診療科 産婦人科13件、不整脈科1件
- ・通訳件数 フィリピン語5件、ポルトガル語3件、スペイン語3件、
ベトナム語2件、中国語1件

「医療通訳者紹介」

- ・派遣者 20件（対面5件、オンライン15件（上記実証実験を含む））
- ・派遣病院 5言語（フィリピン語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語、中国語）
6病院（沼津市立病院（沼津市）、静岡県立こども病院（静岡市）、菊川市立総合病院（菊川市）、静岡県西部児童相談所（磐田市）、静岡済生会総合病院（静岡市）他）

イ 静岡型定住外国人就業・定着システム構築事業（県委託事業）

定住外国人の正社員就業を支援するため、外国人求職者への情報提供や就職相談に対応した。また、外国人従業員の雇用に関心のある企業に対してセミナーを開催し、外国人を適切かつ効果的に受け入れるための事例等を紹介した。

「企業向けセミナー」

外国人を雇用する企業担当者や社員による講話を行い、企業担当者向けに外国人社員採用の事例報告やアドバイザー派遣制度の説明を行った。

- ・開催時期 令和4年8月～令和5年2月
- ・開催回数 全5回
- ・会場 ①オンライン（Zoom）②静岡市 ③牧之原市 ④磐田市 ⑤富士市
- ・講師 企業経営者や人事担当者と外国人正社員
①（株）鈴与カーゴサービス浜松 ②鈴与カーゴネット（株）
③ 光誠工業（株）、（株）矢部製作所第一製造部
④ 平野ビニール工業（株）、（株）セイエイ
⑤ 富岳通運（株）富士宮支店
- ・参加者 ①15名 ②16名 ③11名 ④25名 ⑤9名

「定住外国人向けセミナー」

正社員として働く定住外国人が講師となり、派遣と正社員の違い、入社までの経緯、必要な日本語力等について講話を行った。

- ・開催時期 ①令和4年11月20日（日） ②令和5年3月5日（日）
- ・開催回数 全2回
- ・会場 ①浜松こども館分室（浜松市）②カトリック富士教会（富士市）
- ・参加者 ①13名 ②20名
- ・講師 外国人正社員
① ブラジル出身
廣川精機（株）ダニエル タケン ジュスチノ ダシルバ 氏
（株）静岡県セイブ自動車学校 タカダ アルベルト 氏
② ブラジル出身
（株）鈴与カーゴサービス富士 座間 アウレリオ マサル 氏

「進路機会を活用した情報提供」

市町が実施する進路説明会の場において、定住外国人が講話者となり、自身の就職に至るまでの経験談や、仕事内容について紹介した。全3回。

- ・開催時期 ①令和4年7月30日（土） ②8月3日（水） ③8月6日（土）
- ・会場 ①静岡市清水庁舎（静岡市） ②袋井市教育会館（袋井市）

- ③ 焼津公民館（焼津市）
- ・講師 外国人正社員、子育て経験者
 - ① ブラジル出身 袋井市役所職員 田中 琢間 氏
 - ② フィリピン出身 アツミテック（株）ニウエル ドウエラス 氏
ブラジル出身 子育て経験者 田中 カルドーソ多美 氏
 - ③ ブラジル出身 インフィック(株) 宮城 ユカリ 氏
- ・参加者 ①34名 ②8名 ③29名

「アドバイザー派遣」

就職を希望する定住外国人及び雇用に関心のある企業双方に寄り添い、アドバイスをを行った。

- ・アドバイザー 海外駐在経験者、キャリアコンサルタント、日本語教師、社会保険労務士、行政書士等
- ・アドバイザー派遣回数 58回
- ・企業登録者数 79社（令和5年3月末時点）
- ・正社員登用につなげた実績 31件

ウ 外国につながる高校生を対象とした日本語教育及びキャリア支援事業

（一財 自治体国際化協会助成金事業）

「外国につながる高校生の進路を応援する『オレンジガイド』及び進路ワークブックの作成」

高校の先生や支援者が生徒に進路についてアドバイスをする際に活用することを目的としたガイドブックを日本語、ポルトガル語で作成した。また、フィリピン語を加えた3言語のデータはホームページからダウンロードできるようにした。

高校生が進路を自分事として捉え、具体的な手立てを自分で考えることを目的としたワークブックを作成し、ホームページに掲載した。

- ・作成部数 「オレンジガイド」日本語版 500部 ポルトガル語版 300部
- ・協力 NPO 法人浜松日本語・日本文化研究会

「日本語クラスの開催」

日本語能力が不十分で学校生活や授業理解に課題を抱えている生徒を対象とし、進路決定や漢字強化を目的とした日本語指導を行った。

- ・開催時期 令和4年9月～令和5年2月
- ・会場 私立誠恵高校（沼津市）、県立浜松北高校定時制課程（浜松市）
- ・回数 誠恵高校 全12回 浜松北高校 全19回
- ・生徒数 誠恵高校 11名 浜松北高校 10名
- ・協力 グランジャー・グローバル・アカデミー（沼津市にある日本語学校）

(3) 日本語指導ボランティア研修会開催事業

外国人住民への日本語指導を行うボランティアの資質向上及び地域日本語教育の推進を目的とし、「静岡県日本語ボランティアセミナー2023」を静岡県と共催で開催した。多文化共生社会における地域日本語教育について理解を深める講義と、静岡県が実施するモデル日本語教室等の報告が行われた。

「静岡県日本語ボランティアセミナー2023」

- ・開催時期 令和5年1月21日（土）
- ・開催方法 オンライン（Zoom）
- ・講師 菊池哲佳氏（一社 多文化社会専門職機構）
富士市市民活躍・男女共同参画課、焼津市市民協働課
岡田理江氏（NPO 浜松日本語日本文化研究会）

- ・参加者 80名

日本語サポーター

- ・登録者数 405名（令和5年3月31日現在）

(4) 外国人学校児童生徒日本語支援事業

外国人学校に通う児童生徒の日本語教育について、日本語指導者等と課題を共有した。必要な支援を「子どものための日本語学習支援基金」事業につなげた。

【 地域連携・協働事業 】

(5) 多文化共生団体ネットワーク構築

県内市町の国際交流協会や相談窓口、社会福祉協議会等、関係機関と情報共有を図り、生活困窮者に対して生活資金の貸付制度の情報提供や申請にかかる支援を行った。

(6) 外国人児童支援事業

県拠出金や民間寄附等を財源とする「子どものための日本語学習支援基金」を活用して、日本語学習指導者派遣事業及び日本語学習教材給付事業を実施した。なお、令和4年度をもって基金は終了した。

「日本語学習指導者派遣事業」

- ・派遣実施校 2校 ソヒゾ・デ・クリアンサ（菊川市）
オブジェチャーボ・ジ・イワタ（磐田市）

「日本語学習教材給付事業」

- ・給付校 5校 エスコーラ・フジ（富士市）、ソヒゾ・デ・クリアンサ（菊川市）、ニッポ・ブラジレイロ（菊川市）、オブジェチャーボ・ジ・イワタ（磐田市）、ムンド・デ・アレグリア（浜松市）
- ・給付対象者 370名

(7) 外国人技能実習生等日本語支援事業

ア 技能実習生の日本語教育は、企業責任において実施すべきとの考えをもとに、日本語支援者の紹介や地域のイベント参加を促す取組を継続的に行った。

イ ウクライナ避難者日本語教育推進事業（県委託事業）

県内に居住するウクライナ避難民を対象とし、個別の聞き取りを行った上で日本社会で生活を営む上で必要となる初期日本語教育を実施した。学齢期の子どもに対しては円滑に学校生活を送ることができるよう、在籍学校で日本語指導を実施した。

- ・開催時期 令和4年10月～令和5年3月
- ・実施地域 清水町、御殿場市、富士市、静岡市、掛川市
- ・避難者数 16名（大人12名 子ども4名）